

NEWS RELEASE (2021年10月8日)

奄美群島に特化した起業家・職業人支援教育プログラム 初の「奄美環境文化」実習 in 奄美大島

報道機関 各位

平素より本学の報道に関しては大変お世話になっております。

本学では、初の試みとして「奄美群島に特化した起業家・職業人支援教育プログラム」を開講し、令和3年9月12日より開始しました。現在、奄美群島全域から3つのコース(起業家コース、WEBデザインコース、事業主・行政コース)に68名が学んでいます。

本教育プログラムの目的は、奄美群島に在住又は移住予定の方を対象に、自分たちの住む島・シマ(集落)の地域特性を奄美の「環境文化」という考え方から捉え直し、その価値を生かした新たな仕事を生み出せる起業家・職業人支援を行うことです。

今回初めて3週間のオンライン講義を終えて、「奄美環境文化」をテーマに2日間連続の現地実習を実施します。実習には奄美群島各地から45名の社会人が参加して二つの集落を訪問し、地元の方と交流します。ぜひ取材をお願いします。

取材の際は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施くださいますようお願いいたします。

実習期間	1回目:令和3年10月9日(土)~10月10日(日) 2回目:令和3年10月11日(月)~10月12日(火) ※感染対策を講じた上で3密を避けるために二回に分けて実施しますが、二回とも同じ行程・内容です。
実習内容	・島巡検(奄美大島の自然・地理特性を読む) ・集落散策(旧住用町市集落、及び、龍郷町秋名・幾里集落の自然・地理と文化・歴史) ・環境文化体験(集落の伝統行事等を体験し、高齢者の方にお話を伺う) ・集落の現在と未来1(環境文化を担ってきた/いる青年団、婦人会等の方との座談会) ・集落の現在と未来2(環境文化を新しく創造・生かそうとしている方との意見交換) ・島唄の心(自然と暮らしの密な関係より生まれた島唄の原点に触れる) ・2日間のまとめのワークショップ ※実習の旅程等の詳細は、別添資料をご確認ください。

なお、当教育プログラムの詳細は、下記のホームページからご確認頂けます。

【HP】 <https://www.life.kagoshima-u.ac.jp/amami/>

【問い合わせ先】

鹿児島大学産学・地域共創センター生涯学習部門

担当教員: 小栗 (oguri@life.kagoshima-u.ac.jp)

担当係: 研究推進部社会連携課 産学・地域連携係

電話: 099-285-7104

鹿児島県における就職・転職支援のための大学リカレント教育推進事業
 (就職・転職支援のためのリカレント教育プログラムの開発・実施)
 奄美環境文化実習 (奄美大島) 令和3年10月9日(土)～10日(日)
 令和3年10月11日(月)～12日(火)

概要	講義の目的は、座学で学んだ奄美の「環境文化」について、巡検を通じて身体感覚をもって理解を深め、島・集落(シマ)のブランディングの検討を行うことである。実習では、「環境文化」の読み方を実地で学び、「環境文化」の生成過程とその生成・流通・循環の条件について考察を深める。また、集落(シマ)や島の若手経営者らとの交流、並びに、受講生同士の交流を通して、出身の島や自己理解について認識を深め、専門コースに進む準備とする。 実習の内容としては、島の特徴的な自然地理条件のスポットをバスで巡り、生活文化とのかかわりを確認し、方言・芸能・生業等の「環境文化」を体験する。また、シマの方とのふれあい(聞き取り調査含む)を通して、目に見えない「環境文化」の存在に触れる。さらには、「環境文化」を事業に結びつけて活躍する先達らの経験を聞き、交流するとともに、島・シマのブランディングの意見交換を行う。
参加者	(講師2名) 小栗有子(鹿児島大学)・高梨修(奄美市博物館) (受講生23名※第1回目) (受講生22名※第2回目) (事業実施委員会若干名)

10月9日(土)、10月11日(月)

	場所	目的	内容	備考
8:30集合 8:50出発	奄美大島支庁駐車場	集合		
	国道(30分)			
9:20 9:45	マングローブ(25分※乗車下車含)	解説	マングローブを俯瞰する	
9:50 10:30	マングローブ(40分※乗車下車含)	解説	マングローブ群落の散策	
10:45 11:00	市集落の峠(15分※乗車下車含)	解説		
11:05 12:05	市集落公民館→集落(60分)	集落案内 講話1	市集落の自然・地理と文化・歴史の関係を探索	「里」と呼ばれる地区を中心に、伝承地、伝統的行事に関わる場所などを巡検予定。
12:10 13:10	市集落公民館	昼食		
13:15 14:00	市集落公民館(45分)	講話2 質疑応答	市集落の歴史と今	人口、盛んだった生業・産業、喜界島との関係、海や山から採ってくる食べ物、行事、山村留学、集落の課題など
14:05 14:50	集落内(45分)	講師4名	集落内・アダンの風車体験 ・枕踊り体験	4班に分かれて地元の方と一緒に実演
15:00 15:45	集落内(45分)	講師4名	地元の方のお話を直接伺う。	その場で、実演・指導頂いた方に4班に分かれて伺う。
16:00 17:00	市集落公民館(60分)	講師4名	・区長、婦人会長、青年団長、八月踊り指導者とのパネルディスカッション ・進行:小栗	テーマ:市集落の環境文化継承の過去・現在・未来(市集落の婦人会・青年団等の担い手のお話を伺う)
19:30 ~21:00	★オプションツアー 奄美市立奄美博物館		博物館見学(解説付き)	・希望者のみ ・入館料必要

10月10日（日）、10月12日（火）

8:30集合 8:50出発	奄美大島支庁駐車場	集合		
9:25	秋名コミュニティセンター			
9:30 10:30	秋名幾里集落散策（60分）	集落案内 講話 1	秋名・幾里の自然・地理と文化・歴史の関係を探索	伝承地、伝統的行事に関わる場所などを巡検
10:40 11:50	秋名コミュニティセンター（70分）	講話 2 質疑応答	①秋名・幾里環境文化事業の新展開 ②集落の高齢者と若者の未来 （集落散策の疑問は午後のヒアリングで）	レクチャーテーマ①20分 レクチャーテーマ②20分 質疑応答30分
12:00 12:50	あらば食堂	昼食		
13:00 13:40	秋名コミュニティセンター（40分）	地元講師4名。グループで聞取り	4班に分かれて受講生が直接質問しながら、秋名幾里の暮らしと自然の関わりについて伺う。	・集落散策等で見聞きしたことの疑問点 ・秋名・幾里の暮らしの思い出 ・秋名・幾里の暮らしで大切にしていることや残したいことなど
14:00 15:20	秋名コミュニティセンター（80分）	ワーク ショップ	10分 趣旨説明 10分 個人で振り返り（付箋使用） 35分 グループで共有・整理 25分 全体共有	・2日間で見たこと考えたことを整理する ・島・シマの違いについて発見したことの共有 ・各自の次の展開
16:05 16:45	赤尾木付近・予定（40分）	島唄の心唄と解説	①北部の自然・地理特性の解説 ②シマ唄の想いと価値	